



栃木市議会議員

こだち孝之の きになる NEWS



No.6

発行責任者
 栃木市大平町富田898-4
 日立GLS労組栃木支部内
 電話 0282-43-3039
 小太刀 孝之
 編集者 山下智寛

令和5年度9月定例議会が、8/25～9/26の33日間の会期で開催されました。主な議題は、令和4年度決算の認定でした。決算について、より詳細な審査を行うため、決算特別委員会を設置し4つの分科会に分かれて専門的に審査した結果、認定第1号令和4年度一般会計決算が認定されました。



令和4年度に実施された事業（主なもの）

事業内容	事業費（千円）
◆第77回国民体育大会開催関係事業 ・市内で正式競技4競技、デモンストレーションスポーツ2競技を開催	467,510
◆RPA・AI整備事業 ・RPA・AI-OCR及びAI音声認識に活用による事務の効率化	4,320
◆とちぎ秋まつり負担金 ・平成30年以来、4年ぶりにとちぎ秋まつりを開催	17,000
◆コウノトリ生息地環境整備事業 ・人口巣塔周辺の除草等の環境整備、ライブ配信可能なカメラの設置	4,360
◆子どもの居場所運営事業 ・養育を必要とする児童に対し、必要な支援を市内2ヶ所の事業所で実施	17,720
◆学校給食物価高騰対策事業 ・物価高騰の影響による食材費値上げ分を支援し、給食費値上げを抑制	60,430
◆渡良瀬サイクルパーク管理運営事業 ・管理運営を委託し、コースの管理等を実施	12,810
◆斎場整備事業 ・PFI手法により新斎場の整備を実施	15,230
◆スマートIC整備事業 ・東北道都賀西方パーキングエリアにスマートICを設置するための関係事業	53,550

9月定例議会で決まったこと（主な議案）

一般会計補正予算（第5号）
 議案73号
 令和5年度一般会計補正予算
 （第5号）

可決 全会一致

・歳入歳出にそれぞれ23億628万1千円を追加し、予算総額を784億4307万5千円とするもの。

【主な追加内容】

- ・民間保育所等使用済みおむつ処分事業費
- ・県単独農業農村整備事業費
- ・スマートIC整備事業費
- ・消防車等整備事業費
- ・中学校設備省エネ化推進事業費

**方針の即時撤回を
 請願第1号
 部屋小学校の移転等の方針の
 即時撤回求める請願書**

不採択 採択3/不採択24

【主な意見】：不採択とすべき（反対）

・市当局の進め方は、配慮と丁寧さが欠けていた部分があったのではないかと。配布された通知にも、紛らわしい点が見受けられる。しかし、部屋小学校の保護者に対するアンケートでは、移転に賛成の意向を示した方も多数おり、また、今後は地元関係者による検討会議において、学校生活と地域特性の両面から子どもたちの安心安全を見据えたうえで、方向性を見出してもらいたいと考える。

※私、こだち孝之も不採択（反対）としました

一般質問報告

令和5年度9月定例議会にて、8/29(火)に一般質問に登壇させて頂きました。今回の一般質問では、一つ目に生活道路の補修について、二つ目に本市の危機管理について、三つ目にゼロカーボンシティ宣言への意識高揚について質問させて頂きました。以下、詳細の一部をご報告させて頂きます。
 ※9月議会は13名の議員が一般質問に登壇しました。

◆生活道路の補修について

- (1) 生活道路補修の優先順位について
- (2) 身近な生活道路(私道や2項道路)の補修の在りかたについて**

◆本市の危機管理について

- (1) 市内道路冠水に関する情報収集について
- (2) 市内道路に対する情報発信と対応策について

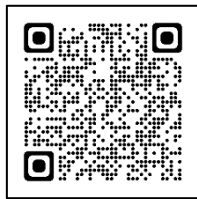
◆ゼロカーボンシティ宣言への意識高揚について

- (1) 市職員に対する意思高揚施策について

※一般質問の詳細はこちらからアクセス



©2014 栃木市とち介



【質問】

身近な生活道路には、公道の他に私道や2項道路が挙げられる。補修が必要になった場合、本市には助成制度等がなく、個人の所有(共有の場合は共有所有者)の土地であることから、当該地に居住する住民が実費にて対応するしかない。

本市には道普請事業原材料支給制度があるが、私道や2項道路は対象になっておらず、自治会にも労力が求められるために、現在はこの制度はほとんど使用されていない。

核家族化が進み高齢者のみで年金生活世帯であれば、多額の費用が必要となる私道や2項道路の補修費用を捻出するのは困難であり、転倒等が懸念される中、身近な生活道路を通行しなくてはならない。このような状況で、市が掲げる「誰もが安心して暮らせる栃木市」といえるだろうか？

東京都小平市のように、市が私道の補修費用の9割を負担し、工事を行う事業を実施している自治体も存在する中で、本市として当該道路の補修に対し助成制度等の施策が必要と考える。本市の見解を伺う。

※参考 アスファルト舗装打ち換え費用
約¥4,000/m²

【答弁】

集落内の生活道路で住民同士が土地を抛出して造成された道路や個人が建築行為に伴って造成した道路、または開発行為等により事業者が造成した道路等の私道は、個人または法人の所有物となっていることから、所有者に管理責任が生じるものである。私道等の補修に対する助成制度については、他の自治体において不特定多数の方々を通る私道について、自治体が補修を行い、地元で一定の負担を頂くものや、補修は所有者が行い、その一部を補助する制度を設けているところもあるので、今後も県内市町の動向を見極めながら研究していく。

新斎場が10/1から共用開始されました



9/14(木)に実施されました栃木市新斎場(所在地:岩舟町三谷1211-1)の竣工式に出席させて頂きました。式典中に愛称の発表があり、多数の応募の中から、【あじさいの杜】と決定されました。

編集後記

栃木県内の今年の猛暑日(最高気温35℃以上)は全14観測地点のうち、佐野や小山、真岡等6地点で年間日数の過去最多を更新したことが10/3(火)の下野新聞で発表されました。全国の最高気温予想地域に佐野市や館林市が連日のように気象情報で取り上げられていた記憶があります。猛暑日の影響もあり、短時間の大雨やゲリラ豪雨も全国で多数発生しました。

栃木市では6月から7月で2回の大雨警報が発令され、市内各所で道路冠水に繋がり、車が立ち往生となったケースも見られました。本定例議会の一般質問で市内道路の道路冠水について取り上げましたが、私道における道路冠水の実績のある個所は、市内全域で79ヶ所にものぼります。ハザードマップへの掲載等で周知をしていくところですが、皆さまも大雨の際には十分注意して通行をお願い致します。



栃木市議会議員 小太刀孝之